

2021(令和3)年度 起業インターンシップ 実施報告

1. 事業趣旨:

「アクティブ・ラーニングの具現化」、「with コロナ時代の新たな進路に関する意識啓発、やる気の創出」を目的に、「起業」という新たな視点から「働く」ことを考える機会を提供。女性起業家、社内起業家、学生起業家それぞれの見地から具体的事例を聞き、自分ごとの課題解決をはかるべく「コロナ禍におけるより良い大学のサービス」をテーマとしてビジネスアイデアソンを開催した。

テ ー マ :	“起業”という働き方
実 施 日 :	2022(令和4)年3月12日(土)・13日(日)
実施場所 :	キャンパスポート大阪(大阪市北区梅田 1-2-2-400 大阪駅前ビル 4 階)
講 師 :	・株式会社ハート・オーガナイゼーション 代表取締役 菅原 俊子氏 ・NTT 西日本 イノベーション戦略室 シニアマネージャー 株式会社パラレルパートナーズ 代表取締役 及部 一堯氏 ・D harbor 株式会社 元共同創業者 阪井 海歩氏 ・Osaka Innovation Hub 松出 晶子氏
ファシリテーター:	・Osaka Innovation Hub 野崎 麻衣氏 ・大学コンソーシアム大阪 事務局 中川 邦彦氏
参加学生数:	5 大学 12 名 (大学別) 追手門学院大学 2 名、大阪学院大学 1 名、大阪産業大学 6 名、 四天王寺大学 1 名、相愛大学 2 名 (学年別) 2年生:8 名/3年生:2 名/4年生:2 名
企画・運営 :	特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪
協 力 :	Osaka Innovation Hub

2. プログラム概要:

日程・場所	プログラム	内容
3月12日(土) 13:30~16:30 キャンパスポート 大阪	起業・ベンチャーを知る	■起業とは？起業・ベンチャーの現況 ・松出講師 ■起業家講演 ・菅原講師(大阪の女性起業家) ・及部講師(兼業起業家) ・阪井講師(学生起業家) ■パネルトーク
3月13日(日) 13:30~17:00 キャンパスポート 大阪	起業・ベンチャー的に 思考する	■グループワーク(アイデアソン)と発表 ・中川ファシリテーター テーマ:コロナ禍におけるより良い大学のサービス ■講評 ・及部講師 ・阪井講師 ・野崎ファシリテーター

〔講演概要〕

■松出講師

起業＝新しく事業を起こすことであり、その形態（個人事業主、法人設立、社内起業等）や種類（ベンチャー、スタートアップ、スモールビジネス等）は様々であり、それぞれに特徴がある。やりたいことに合った形を選ぶことが大切だ。また、起業はゴールではなく、実現したいことや解決したい課題がある場合の手段だ。この課題を解決したい、という思いや実現したいビジョンを持っている人は強い。これから生きていくうえで、選択肢は無限。起業をその選択肢の1つにしてみしてほしい。

■菅原講師

外資系航空会社の客室乗務員だった20代、訪れたインドで貧困の様子にインパクトを受けた。その後、大阪のホテルに転職し、コンベンション担当として働く中で、縁あって製薬会社に転職。薬のプロモーションに携わった。このとき、途上国における薬のニーズは軽視されがち傾向があることを知り、問題意識が芽生えた。薬を広めることも大切だが、それを使う医師の技術を向上させることも大事であり、途上国の人々の役に立つのでは思ったことが起業のきっかけ。最初は個人事業主からはじめ、実情に応じて法人化や事業の整理を行ってきた。世界はもとより日本にも医療格差が存在するが、オンラインで世界中の医師をつなぎ、格差をなくすことを目指している。現在は、ライブ研究会プラットフォーム、医療画像共有プログラムの2事業を展開。対象を専門医に特化することで業績は好調。起業には問題意識が大事。何をするのか、それにはどんな方法がよいのか、自ら考えてほしい。

■及部講師

現在、NTT 西日本イノベーション戦略室に所属し、オープンイノベーションの促進に尽力すると同時に、様々な複業（複数の仕事を持つこと）、副業（本業以外の仕事をして収入を得ること）を行っている。その根底にあるのは、世界中の人に元気を与え“続け”たい、そのために地域経済を発展させたいという思いだ。所属しながら起業する兼業のメリットは、安定した給与を得ながら働くことができること（これによりお客様を選ぶことができ、価格等もコントロールできる、仮に失敗しても収入が確保できる）、利用できる様々なリソースがあること（新規事業のノウハウや、判断材料を収集する能力が得られる等を含む）、他者や社会からの信頼度が高く、活動の波及効果があること等が考えられる。所属先でできないことは自分で行き、自分でできないことは所属先で行う。この使い分けは、相互に利を生み、自分自身も倍速で成長、自由な生き方に繋がる。キャリアは、自分の中で判断することが大切であり、人生の先輩をはじめ、色々な人の話を聞いて自分の生き方を考えるとよい。苦しいことはたくさんあるが、自分の幸せの軸をしっかり持つておくことで乗り切れる。「千里の道も一歩から」であり、一歩足を踏み出したら、そこで止まらず、2歩、3歩と前進してほしい。

■阪井講師

2021年3月に近畿大学を卒業。在学中にフードデリバリーの会社を立ち上げ、開店コストが必要ない形で飲食物を販売できる仕組みを作った。OIH(Osaka Innovation Hub)の支援を受けながら、プロスポーツチームと協働するなど躍進したが、現在、会社は休眠状態。しくじり先生として聞いてほしい。3年生のとき大学の起業家育成講座に参加し、コンテストで優勝したことが起業のきっかけ。

けとなった。関西、日本の経済を盛り上げたいという思い、地域の経済を活性化するのは店舗だという思いからサービスを構想した。失敗したのは利益が薄かったこと、食品販売という分野において信用獲得が難しかったことが原因。しかし、会社を作り投資家から資金を得ることなど、同年代にはできない体験から得るものは大きかった。今後は一度企業に所属して、3つの軸(営業、IT、上場)を学んだうえで、あらためてスタートアップを支援する事業を立ち上げたいと考えている。起業も就活も経験した身として、学生起業は学業との両立など厳しい面もあるが、リスクが比較的少なく、失敗しても経験を糧に成長することができると思っている。目標を持ち、相談できる人を見つけ、身近な課題から起業することを勧めたい。



グループワーク等 当日の様子



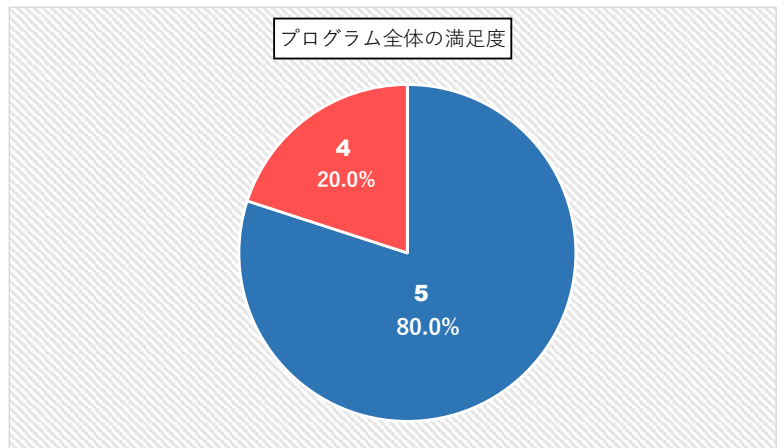
3. 参加者アンケート: 別紙のとおり

2021(令和3)年度 起業インターンシップ プログラム 「“起業”という働き方」参加者アンケート 参加者数 5大学12名(うち回答者数 4大学10名)

1. プログラム全体の満足度

(単位:名)

5 (満足)	8
4	2
3	0
2	0
1 (不満)	0



2. 上記と回答した理由

【満足度5】

- ・自分のイメージをディスカッションで具体的にできた。
- ・講師の方の話がとても参考になった。
- ・普段聞けないような内容の話を起業家の人たちから聞くことができ、とても面白かった。
- ・同じ起業家でも立場や起業の仕方が違うと物事の考え方が似通った所はあるものの基本的に違うものになると学べた。アイデアソンで意見を出し合いテーマに沿った事業を企画する今回の取組は、自分たちの想像力を試した上でそれに対する講評がいただけるまたとない機会でも有難い経験だった。
- ・起業家と、起業志望の学生の話が沢山聞けた。

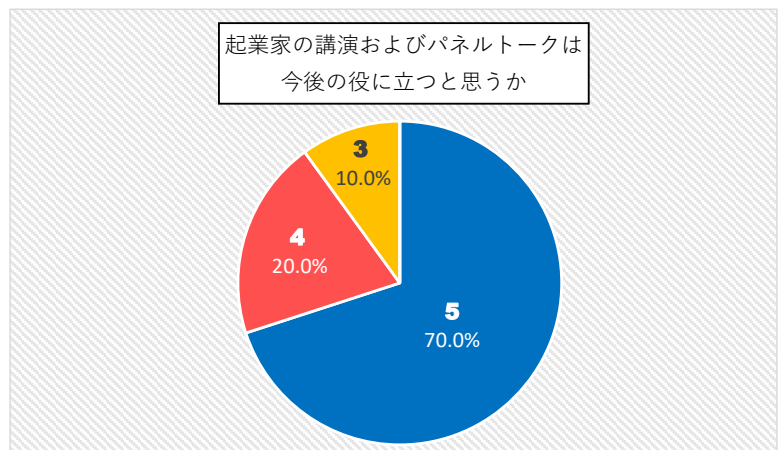
【満足度4】

- ・実践的なアドバイスをいただいた。
- ・さまざまな業種で起業した講師から体験談を聞いたり、他大学の学生と話し合っアイデアを交換したりすることで、自分のキャリアについてより深く考えるようになった。

3. 起業家の講演およびパネルトークは今後の役に立つと思うか

(単位:名)

5 (役に立つと思う)	7
4	2
3	1
2	0
1 (役に立つと思わない)	0



4. 上記と回答した理由

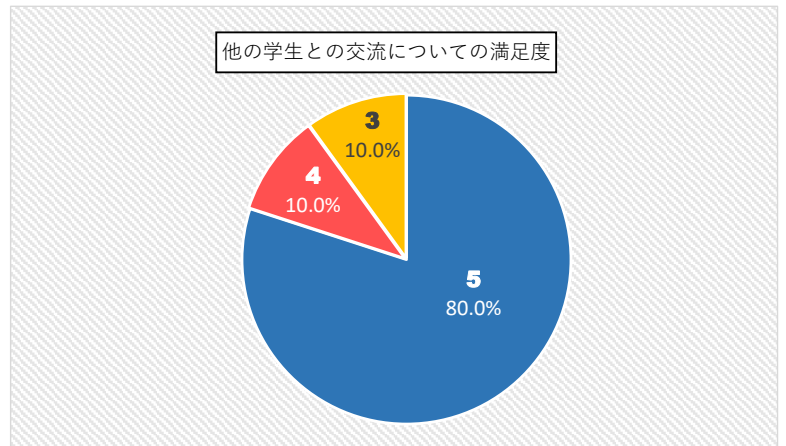
【5】

- ・具体的かつ建設的なお話とても参考になった。
- ・どのような思いで経営をしているのかや、起業をしたのかなど詳しく知ることができ、とても身についた。
- ・様々な視点からの講演だったので考えの幅が広がった。起業の仕方によるメリット、デメリットを聞けたのとその危険性はとても参考になった。
- ・起業家の方々の講演がとても良かった。パネルトークの時間は、聞きたいことを質問できる貴重な機会だった。
- ・知らないことを明確に知れて、起業家の考え方を学べた。

5.他の学生との交流についての満足度

(単位:名)

5	(満足)	8
4	↑	1
3	↓	1
2		0
1	(不満)	0



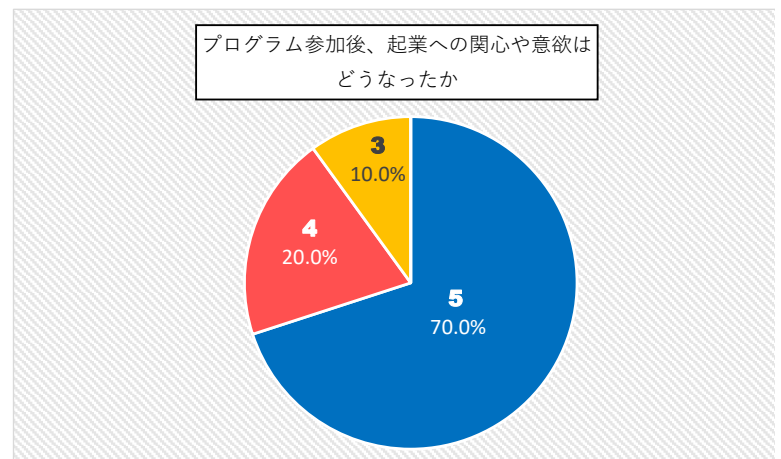
6.上記と回答した理由

- ・自分以外の価値観を持つ人の意見が聞けて、頭が柔らかくなった。
- ・自分も他のメンバーも積極的に参加出来たので、純粋に楽しかった。
- ・対面でそれぞれの思いを取り入れた企画を考え、自分1人ではできなかったことをグループですることができとても面白かった。
- ・グループワークによる意見交流で、問題視していることや困ったことがみんな似通っていることがわかり、それに対しての解決策をどう練るかを考えたことは、とても良い経験になった。また、自分たちの発表に対しての講評と質問には考えさせられた。他のグループの完成度や内容が、とても勉強になった。
- ・他の学生とグループワークでチームに分かれ作業させていただいたことで、新しいアイデアが多く生まれたことや、チーム内での絆ができたことがとても嬉しかった。
- ・難易度の高いワークを行うことで、チームで動くことや起業の難しさ、楽しさを知れた。

7.プログラム参加後、起業への関心や意欲はどうなったか

(単位:名)

5	(高まった)	7
4	↑	2
3	↓	1
2		0
1	(低下した)	0



8.上記と回答した理由

【 5・4 】

- ・難しさが細分化されて楽しさへ変わっていく感覚がわかった。
- ・考えなければいけない所や、大変な所は多いけれども、その分楽しいことも多いと思った。
- ・今回の話を聞いたり、グループワークを通じ、自分と同じような思いを持っている人がいると知り、起業への意欲が高まった。
- ・人々の生活様式や働き方を変えたコロナ禍は、起業のあり方も変えた。社会が大きな変革に直面するなか、社会に貢献できる具体的な起業イメージを持てた。
- ・簡単なことから始められ、思ってた以上にリスクは少ないと知れた。
- ・元々、起業に対しての意欲は低かったが、今回のプログラムを終えて関心や意欲が刺激された。将来の手段の一つとして、とても参考になった。
- ・起業への関心や意欲が高まったのはとてもありがたいことだが、話を聞かせていただいた中で難しいと思ったところもあった。

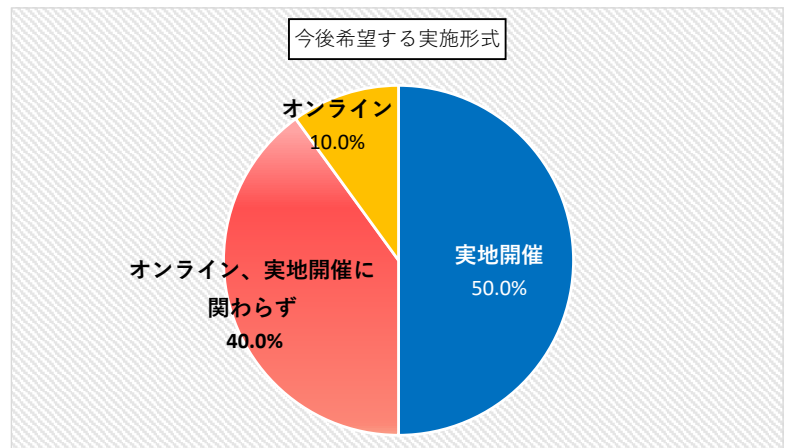
【 3 】

- ・起業というより社会で役に立つ知識だった。

9. 今後希望する実施形式

(単位:名)

実地開催	5
オンライン、実地開催に関わらず	4
オンライン	1



10. 上記と回答した理由

[実地開催]

- ・対面の方が楽しいと感じた。
- ・対面でグループワークをしてみてオンラインではできないような話し合いができ、オンラインより濃い内容になったと思った。
- ・対面の方が人と関わりやすいと思った。
- ・人と会いたいから。

[オンライン、実地開催に関わらず]

- ・オンライン、実地開催に関わらず参加することで良い経験になると予想できる。

11. 今後、希望するプログラム

- ・他の起業家の話も聞いてみたい。
- ・とにかく様々な視点を持って色々な選択肢を得たい。
- ・起業家の新規事業に関われるインターン。

12. その他、プログラムの感想・意見

- ・とても貴重な体験や話を聞くことができ、楽しく新鮮な気持ちで聞くことができた。このプログラムで起業する意欲がより高まった。
- ・とても参考になった。また機会があれば是非参加したい。
- ・起業家の方々のお話を聞かせていただけるとても良い機会となった。
- ・有意義な時間を過ごせた。